



# 楽通信 172

tanotsuushin



福岡市那の津倫理法人会の皆様  
いつも、倫理活動にご協力いただき、心より感謝申し上げます。



福岡市那の津倫理法人会  
会長 福井 富士子

「守る」から生まれる「人は鏡」  
私たちが日常的に使う「守る」という漢字。その成り立ちは、ウ冠（屋根・家）の下に、長さや法を測る基準である「寸（手）」を置くことで、「家の中で約束やきまりをしっかりと維持する」という意味を持っていると学びました。

この文字が示す「内側を大切に維持し、きまりを保つ」という姿勢は、倫理法人会の「万人幸福の菜（17箇条）」が説く実践の精神と深く響き合っているといえるのではないのでしょうか？

17箇条は、私たちがより良く生きるための「心のきまり」です。例えば、第1条の「今日は最良の一日、今は無二の好機」に始まるこれらの教えは、自らの「手（実践）」をもって、守り続けることで初めて、幸福の扉が開かれます。

「守る」とは、受動的なものではなく、大切なものを維持するために、自ら動く「能動的な実践」であることが大切になります。

17箇条という普遍的な法則を毎日の生活の中で即行していくこと。その積み重ねが、自分自身の軸をぶらさず、家族や社員、そして会社という大切な組織を本当の意味で「守る」力になるのだと学びを深めています。

まず「自分の約束・原則・ルールを守る」挨拶を守る、時間を守る、約束を守るなど、基本をきちんと守る。その「守る姿勢」が、相手の反応に映る。「丁寧さは丁寧さを生み、信頼は信頼を呼び、雑さは不信となって返ってくる」いい加減な約束の仕方は、相手のいい加減な反応となって映り、誠実に約束を守る姿勢は、相手の信頼と協力となって映ります。だからこそ、「人は鏡」です。相手を変えようとする前に、自分が何をどう守っているかを見直すとき、人という鏡に映る景色も、少しずつ変わり始めます。

また、この「守る」という漢字の『寸』は、倫理の「倫」の「侖」の字との関わりも見えてきます。

「侖」は、「イ（人）」と「侖（まとまり・道筋）」から成る形声文字で、

「人として守るべき道、道理、人との秩序」を表すと学びました。

「守」の部首の『寸』とからむと一寸進む中でまとまりになっていくこと。

あつまってこそ、「侖」となる。「忙しくなったら親に会えなくなるのではなく、忙しいからこそ原点に帰る」「仏壇で拝む、ありがとうと声に出す」この気づきが、

私にとって「反始慎終（始まりに立ち返り、本を忘れず、少しずつ、終わりまで慎み深くやり通す）」を刻んだ「寸」の一点であるといえます。

これからの経営の進み方にもなり、人生の土台にもなっています。

「家の中で約束やきまりをしっかりと維持する」という意味が倫理経営の一つの道筋と考えます。



明朗・愛和・喜勸  
笑う門には福来たる

## 2026年7月 経営者MS 《他単会講話情報》



◆7月4日(土)  
嘉麻倫理法人会  
福井 富士子会長 講話  
鴨生公民館  
(嘉麻市鴨生1081-2)

◆7月7日(火)  
博多みなと倫理法人会  
福井 富士子会長 講話  
福岡サンパレス  
(福岡市博多区築港本町2-1)

◆7月29日(水)  
那珂川市倫理法人会  
法人レクチャー  
金川 俊一 相談役 講話  
キャプテン  
(那珂川市松木1丁目1)

◆7月30日(木)  
中洲川端倫理法人会  
福井 富士子会長 講話  
冷泉サロン  
(福岡市博多区冷泉町10-15-2F)

## 2026年7月「経営者 モーニングセミナー」朝6:00~7:00

### モーニングセミナー会場 福岡サンパレス

福岡市博多区築港本町2-1  
TEL:092-272-1123  
福岡サンパレス駐車場  
(駐車場無料)

1日(水) 講話:「反始慎終」  
講師:福岡市那の津倫理法人会 監査  
(有)五十番食品 代表取締役 王 愛氏

8日(水) 講話:「倫理学習会体験報告」  
・(一社)ののか学園 社員 生島千尋氏  
・(株)消毒清掃 社員 坂口剛司氏  
・福岡市那の津倫理法人会 幹事 稲田夕佳氏  
・福岡市那の津倫理法人会 倫理研究室 室長 津隈 亜理沙氏

15日(水) 講話:「倫理での学び」  
講師:(株)BIG ROAD 男性社員スピーチ  
金川 弦樹氏・萩尾 勇輔氏・末裕 裕介氏  
池田 亮氏・亀井 満氏・仲道 倫明氏

22日(水) 講話:「みんなが笑顔になる町づくり」  
講師:福岡市那の津倫理法人会 会員  
(株)きねや 代表取締役社長 明石 勝善氏

29日(水) 講師:福岡市那の津倫理法人会 MS運営スタッフ  
美髪専門店Your Terrace 代表 二枝 孝徳氏  
(株)BIG ROAD 社員 山口 亜矢氏

モーニングセミナー終了後は、  
朝食会を開催します。  
朝食会は学びを深め、情報交換、  
交流をはかる場所です。  
是非、ご参加ください



## 8月1週目 MS予告

皆様のご参加お待ちしております！

8/5日(水) 講話:「求める人間像」  
講師:福岡市那の津倫理法人会 会員  
(株)岩田産業 グループホールディングス  
代表取締役会長兼CEO 岩田 陽男氏

# 倫理指導を受けて

7月号



楽通信

## 受講者

福岡市那の津  
倫理法人会  
幹事  
クリフチャンネル株式会社

西村 朋宏



## 指導者

(一社) 倫理研究所  
法人局 九州沖縄方面  
副方面長  
高橋 哲也 氏



令和8年5月13日、高橋哲也副方面長より倫理指導をいただきました。指導を受けるにあたり、解決したい事柄を整理するだけで6時間かかりました。それほど真剣に向き合ったつもりでした。相談内容は経営のことでした。売上は伸びているが利益が手元に残らない、集客・人材・組織づくりが課題だと書き、指導をいただくとなりました。

ところが、いざ指導の場に臨むと、聞かれたことに端的に答えることができませんでした。緊張していたせいか、頭の中がチカチカしながら、ひたすら理由付けを探し続けていました。

高橋副方面長からは、「自分勝手になっている」「自分の考えを相手に押し付けている」「聞いていないことまで話している」「たくさん話しているが、確信をついていない」と指摘を受けました。指導票には「余計な話はない」と明記されていました。読んでいたにもかかわらず、実行できませんでした。これが最大の反省点です。指導の内容はこうでした。経営の前に、まずは知ること。妻にどのような夫になってほしいのか、どのような社長になってほしいのか。息子にどのような父親になってほしいのか。まず聞きなさい、そして、そのような勤めなさい。とのことでした。私はすぐに「もし何もないと言われたらどうしたらいいですか」と聞いてしまいました。するとその問い自体が自分勝手な思い込みだと言われました。

答えが返ってくるまで何度も聞けばいい、それだけのことでした。また、聞いてもないことをたくさん話してしまうのは、自分の考えや思いで相手を縛っている行為でもあると言われました。そんなことは今まで一度も考えたことがなく、まさにその通りだと思いました。

指導後、帰宅してすぐに「どのような夫でいてほしいか」を聞きました。妻の答えは「ちょうどいい感じでいてほしい。会話のキャッチボールがもつとできたらいい、それだけ」でした。言われてみれば、全くその通りでした。

翌朝、目が覚めて思いました。全てが自分の思い込みだったかもしれない・・・

その瞬間、今まで積み上げてきた経験も、考えてきたことも、全て幻だったように思い知らされました。一気に自分の考えや学んできたことがガラガラと崩れていく感じでした。相手と話す時でさえ、見た目や雰囲気だけで「この人はこういう人だ」と勝手に判断していた。

「こう返事するだろう」と予測していた。まさに思い込みの中の世界に閉じこもっていたのだと気づきました。

しかしその一方で、不思議と気持ちがお楽になりました。経営への不安もまた、自分の思い込みだったのだと気づいたからです。一人で不安になる必要はなかったのです。気づいた瞬間、すっきりしました。そして妻との会話が増えました。驚くほど増えました。これが一番嬉しいことかもしれません。

今は万人幸福の葉をじっくり読み直しています。まだまだ思い込みは取れませんが、素直な心になることで、自分・家庭・仕事が磨かれていくと感じています。

是非モーニングセミナーにご参加ください！



会員様ゲスト様も是非早朝の勉強会である経営者モーニングセミナーにお越しください！

気持ちのいい朝を送ることをお約束します！